

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本工学院専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ITスペシャリスト科（4年制） AI・システム専攻	夜・通信	6210 時間	80×4＝320 時間	
	ITスペシャリスト科（4年制） セキュリティ専攻	夜・通信	6210 時間	80×4＝320 時間	
	ITスペシャリスト科（4年制） ネットワーク・クラウド専攻	夜・通信	6210 時間	80×4＝320 時間	
	情報処理科（2年制） システム開発コース	夜・通信	2625 時間	80×2＝160 時間	
	情報処理科（2年制） モバイルアプリコース	夜・通信	2625 時間	80×2＝160 時間	
	情報処理科（2年制） システム運用コース	夜・通信	2625 時間	80×2＝160 時間	
	AIシステム科（2年制）	夜・通信	2955 時間	80×2＝160 時間	
	情報ビジネス科（2年制）	夜・通信	3045 時間	80×2＝160 時間	
	ゲームクリエイター科四年制（4年制） ゲームプログラマーコース	夜・通信	3510 時間	80×4＝320 時間	
	ゲームクリエイター科四年制（4年制） ゲームプランナーコース	夜・通信	3570 時間	80×4＝320 時間	
	CG映像科（3年制）	夜・通信	2850 時間	80×3＝240 時間	
	ゲームクリエイター科（2年制）	夜・通信	1860 時間	80×2＝160 時間	
	電子・電気科（2年制） 電子工学コース	夜・通信	1770 時間	80×2＝160 時間	
	電子・電気科（2年制） 電気工学コース	夜・通信	1920 時間	80×2＝160 時間	
	電子・電気科（2年制） 電気工事コース	夜・通信	1410 時間	80×2＝160 時間	
	ネットワークセキュリティ科（2年制）	夜・通信	2595 時間	80×2＝160 時間	
	建築設計科（2年制）	夜・通信	2505 時間	80×2＝160 時間	

	機械設計科（2年制）	夜・通信	1560 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	建築学科（4年制）	夜・通信	4995 時間	$80 \times 4 = 320$ 時間	
芸術専門課程	声優・演劇科（2年制）	夜・通信	4170 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	放送芸術科（2年制）	夜・通信	2310 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	演劇スタッフ科（2年制）	夜・通信	2220 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	コンサート・イベント科（2年制）	夜・通信	2535 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	音響芸術科（2年制）	夜・通信	2655 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	デザイン科（3年制） グラフィックデザイン専攻	夜・通信	2820 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	デザイン科（3年制） イラストレーション専攻	夜・通信	2820 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	デザイン科（3年制） インテリアデザイン専攻	夜・通信	2820 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	デザイン科（3年制） プロダクトデザイン専攻	夜・通信	2820 時間	$80 \times 3 = 240$ 時間	
	ミュージックアーティスト科（2年制） ヴォーカリストコース	夜・通信	2385 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	ミュージックアーティスト科（2年制） プレイヤーコース	夜・通信	2385 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	ミュージックアーティスト科（2年制） サウンドクリエイターコース	夜・通信	2385 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	マンガ・アニメーション科（2年制）	夜・通信	4080 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	ダンスパフォーマンス科（2年制）	夜・通信	2010 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	マンガ・アニメーション科四年制（4年制）	夜・通信	6900 時間	$80 \times 4 = 320$ 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/kmt/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本工学院専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人片柳学園 HP 情報公開ページ「役員・評議員」にて
<https://www.katayanagi.ac.jp/kokai/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	2019.4.1～ 2028.7.11	関係業界知識の教育への反映, 企業経営者としての経験
非常勤	元地方自治体首長	2012.12.1～ 2026.4.27	産官学連携
非常勤	企業グループ会長	2020.4.1～ 2028.7.11	企業経営者としての経験
非常勤	建築設計会社代表	2021.4.1～ 2028.7.11	関係業界知識の教育への反映, 企業経営者としての経験
非常勤	創業株式会社顧問	2021.4.1～ 2026.8.1	同窓会会長・企業経営者としての経験
(備考) 任期は最初の就任日から任期満了日を記載している。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本工学院専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
授業作成について 授業科目について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、各授業科目の内容に反映させている。 シラバスは「日本工学院専門学校授業計画（シラバス）ガイドライン」に基づいて、学内統一様式にて作成を行っている。	
公表について 授業科目について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、各授業科目の内容に反映させている。 シラバスは「日本工学院専門学校授業計画（シラバス）ガイドライン」に基づいて、学内統一様式にて作成を行っている。	
授業計画書の公表方法	https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/kmt/syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

学則より抜粋

(卒業・修了の認定)

第19条

4. 試験に関する事項は、校長が別に定める。各学期、授業日数の4分の3以上出席しないものは受験できない。

学生便覧より抜粋

5. 授業

(5) 授業の出席・欠席・遅刻・早退

出欠は各科目担任が取る。

履修する授業科目の授業には毎回出席しなければならない。出欠の状態は成績を評価する際の重要な要素となる。出席不良者は試験受験資格を失い履修が認められなくなるので、出席には十分に注意をすること。また、欠席したものは欠席届を学級担任に提出すること。

6. 試験

(1) 試験および受験資格

①授業科目の履修および単位取得の認定は試験によって定める。

②試験は、筆記試験、口述試験、報告書、および論文審査とする。

③全校統一した試験は中間試験、期末試験、とし、その他は科目担当教員についてのみ受験することができる。

④学生は定められた規定に従って履修した授業科目についてのみ受験することができる。

⑤各学期の授業日数の4分の3以上出席しない者は、その学期末試験を受験できない。

⑥追試験とは、病気等やむを得ない事情により試験を受ける事ができなかったものに対して行う試験をいい、再試験とは、試験の成績不良者に対して行う試験をいう。

(イ) 追・再試験の受験は1授業科目について1回限りとする。

(ロ) 追・再試験の受験は、追再試験申込書を3号館2階、自動証明書発行機で学生証を使用して発行し、必要事項を記入のうえ、学級担任に提出する。

⑦実験・実習等の評価は、報告書、課題、出席状況等を総合指定判定する。

(2) 受験上の心得

①受験者は試験場において指定の座席に着席し、試験中は常に学生証を試験監督者によく見えるよう机の上に置く事。

②受験者の遅刻は、当該試験開始後30分以内はこれを認めるが、試験時間は延長しない。

③試験中に不正行為を行ったものについては、試験監督者は答案用紙等を取り上げ退場を命ずる。

④試験中に態度不良、若しくは、試験監督者の注意に反した者には試験監督者は退場を命ずる。

7. 成績

(1) 成績評価

S 90点以上 特に優秀

A 80～90点 優秀

B 70～79点 良好

C 60～69点 普通

D 59点以下 不合格

P 単位認定(大卒者や編入学者等の既習得単位の認定)

合格判定のみの科目の評価(一部の科目の単位認定)

*未受験、出席不良等、放棄による不合格

(2) 成績通知

期末試験終了後、成績を通知する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

修要綱(学生便覧記載)において、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。具体的な算出方法は下記の通りであるが、本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

学生便覧抜粋：

7. 成績

(1) 成績評価

S 90 点以上 特に優秀

A 80～90 点 優秀

B 70～79 点 良好

C 60～69 点 普通

D 59 点以下 不合格

P 単位認定(大卒者や編入学者等の既習得単位の認定)

*合格判定のみの科目の評価(一部の科目の単位認定)

GPA (Grade Point Average)

学業の達成度を客観的に評価するための指標となる数値である。

GPA は成績評価の S～D に 4～0 ポイント (Grade Point) を付与し積算したものを履修総単位数で割って平均化した値で表し GPA の最高は 4.000 となる(小数点 4 位以下切捨)

GPA = (各科目の評価ポイント × 単位数) の合計 / 履修単位数の合計

評価ポイント S : 4 A : 3 B : 2 C : 1 D、* : 0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/kmt/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

日本工学院は特定の業種・職種を通じて社会に貢献できる実践的職業人としての基礎知や知識・技術と、必要な資格を身につけた人材、それぞれの分野において実践的専門職業人としての自覚を有する人材を育てます。また地域社会や産業が持つ様々な問題を見つけ出し、連携してそれらの問題を解決できる人材を育成して社会に送り出しています。本校はそのために卒業時点で身に着けるべき能力について、ディプロマー・ポリシー（卒業認定の方針）を策定し、HP に公表している。

また、卒業要件については、学則並びに履修要綱（学生便覧記載）において、下記のとおり規定し、学生便覧において学生に周知を図っている。

学則抜粋より抜粋：

(卒業・修了の認定)

第 19 条 校長は、教育課程の定めるところにより各学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない合格者に対して当該学科目の修了を認定する。

ただし、実験・実習については、実験・実習報告書等によって修了を認定することができる。

2. 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

3. 科目等履修生で所定の課程を修了した者には学習評価のうえ、修了証書を授与する。

4. 試験に関する事項は、校長が別に定める。各学期、授業日数の4分の3以上出席しないものは受験できない。

学生便覧抜粋：

8. 進級及び卒業要件

(2) 卒業条件

卒業するためには、次の条件をすべて満たさなければならない。

(イ) 卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること。

(ロ) 各学科所定の授業科目に合格していること。

(ハ) 期日までに学費等を全額納入していること。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/kmt/>

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	日本工学院専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.katayanagi.ac.jp/kokai/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		IT スペシャリスト科		－		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼間	3450 単位時間／単位		2475 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	4470 単位時 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
320 人		336 人	1 人	8 人		11 人		19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
120 人 (100%)	0 人 (0.0%)	116 人 (96.7%)	4 人 (3.3%)
（主な就職、業界等） I T ・ W e b ・ 通 信 ・ A I ・ セキュリティ業界 等（アイリスオーヤマ、サイバーコム、ラック、富士ソフト、CTC テクノロジー、エヌ・ティ・ティエムイー 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において、就職活動方法と共に、身だしなみを含む就活マナー、履歴書やエントリーシートなどの応募書類の書きかた等を説明。業界セミナーの実施や就職試験対策として市筆記試験や模擬面接を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、シスコ技術者認定、情報検定 J 検 2 級			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
388 人	6 人	1.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報処理科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	1245 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1410 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		314 人	61 人	8 人	7 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
176 人 (100%)	34 人 (19.3%)	129 人 (73.3%)	13 人 (7.4%)
（主な就職・業界等） I T ・ W e b ・ 通 信 ・ A I ・ セ キ ュ リ テ ィ 業 界 等（ローソン、東京スター銀行、富士ソフト、アスパーク、TIS システムサービス 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート試験、基本情報技術者試験、情報検定 J 検 2 級、MOS			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
372 人	14 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	情報ビジネス科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1700 単位時間／単位	2070 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2025 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		108 人	8 人	4 人	13 人	17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	0 人 (0.0%)	33 人 (94.3%)	2 人 (5.7%)
（主な就職・業界等） 営業販売・ホテル・あらゆる業界の事務・販売職 等（星野リゾート 小田急リゾート、JAL グランドサービス、ドン・キホーテ等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において、就職活動方法と共に、身だしなみを含む就活マナー、履歴書やエントリーシートなどの応募書類の書きかた等を説明。業界セミナーの実施や就職試験対策として市筆記試験や模擬面接を実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） サービス接客検定 2 級、秘書検定、ビジネス能力検定、簿記検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	1 人	1.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	AI システム科	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1740 単位時間／単位	1365 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1650 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		117 人	36 人	4 人	7 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
51 人 (100%)	13 人 (25.5%)	33 人 (64.7%)	5 人 (9.8%)
（主な就職、業界等） I T ・ W e b ・ 通 信 ・ A I ・ セキュリティ業界 等（富士ソフト、旭情報サービス、カーズ 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート試験、基本情報技術者試験、情報検定 J 検 2 級、MOS			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125 人	3 人	2.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター科 四年制	－	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼間	3420 単位時間／単位	1200 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2370 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480 人		434 人	6 人	12 人	5 人	17 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
125 人 (100%)	1 人 (0.8%)	122 人 (97.6%)	2 人 (1.6%)
（主な就職、業界等） ゲーム・アニメ業界 IT 業界 等（セガ、カプコン、プラチナゲームス、バイキング、カーズ 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、 ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
478 人	9 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	CG 映像科		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2430 単位時間／単位	660 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2310 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
360 人		345 人	29 人	9 人	35 人	44 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
93 人 (100%)	0 人 (0.0%)	80 人 (86.0%)	13 人 (14.0%)
（主な就職、業界等） CG・ゲーム・アニメ・映像編集・CM業界 等（カプコン、エイジェック、ダンデライオンアニメーションスタジオ 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、ビジネス著作権検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
346 人	14 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職、進学）、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	ゲームクリエイター科		○		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	660 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1200 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200 人		130 人	27 人	6 人	10 人	16 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
80 人 (100%)	8 人 (10.0%)	67 人 (83.8%)	5 人 (6.3%)
（主な就職、業界等） ゲーム・アニメ業界 IT業界 等（マーキュリー、東洋ワーク、IST ソフトウェア、テクノアーク 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、 ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
172 人	8 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電子・電気科 電気工学コース	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1770 単位時間／単位	1920 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	360 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人のうち 数 80 人		149 人 のうち 数 52 人	11 人のう ち数 5 人	6 人	16 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27 人 (100%)	0 人 (0.0%)	26 人 (96.3%)	1 人 (3.7%)
（主な就職、業界等） AV 機器・製造・通信・家電業界 等(ANA スカイビルサービス、相鉄企業、東武ビルマネジメント、野村不動産パートナーズ 等)			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 第三級海上特殊無線技士、第二級陸上特殊無線技士、第一級陸上無線技術士、 ビジネス能力検定3級、第二種電気工事士、スマートマスターほか
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	5 人	9.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	電子・電気科 電子工学コース		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	1290 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	900 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240 人のうち 数 80 人		149 人のう ち数 38 人	11 人のうち 数 3 人	6 人	16 人	22 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	6 人 (28.6%)	13 人 (61.9%)	2 人 (9.5%)
製造・インフラ関係・ビル・施設管理 等（コムシスモバイル、京セラコミュニケーションシステム、花岡無線電機 等）主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第二種電気工事士、ガス溶接技能講習、低圧電気取扱者特別教育、酸素欠乏危険作業特別教育			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	8 人	13.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		工業専門課程	電子・電気科 電気工事コース		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	2010 単位時間／単位	1260 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1020 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人のうち 数 80 人		149 人のう ち数 59 人	11 人のうち 数 3 人	6 人	16 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0.0%)	26 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 電気設備・インフラ関係・施設管理・消防設備 等（雄電社、関電工、きんでん東京サービス、東光電気工事 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 主な学修成果（資格・検定等） 第二種電気工事士、第一種電気工事士、工事担当者 DD2 種、電気工事施設管理技士、手圧電気取扱特別教育、高圧電気取扱特別教育、小型移動式クレーン			

特別教育、高所作業者運転技能
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58 人	2 人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	945 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1680 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		71 人	5 人	2 人	4 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	4 人 (9.3%)	35 人 (81.4%)	4 人 (9.3%)
（主な就職、業界等） I T ・ W e b ・ 通 信 ・ A I ・ セキュリティ業界 等（東芝テックソリューションサービス、アプリコットネットワーク、東芝デジタルエンジニアリング 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、AWS 認定クラウドプラクティショナー、シスコ技術者認定、IT パスポート試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	1 人	1.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	建築設計科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1890 単位時間／単位	960 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1605 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		139 人	16 人	4 人	13 人	17 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77 人 (100%)	38 人 (49.4%)	33 人 (42.9%)	6 人 (7.8%)
（主な就職、業界等） 建築・建物施設管理・インテリア業界 等（小田急電鉄、東建コーポレーション、大和ハウス工業。等			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築施工管理技術検定、ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168 人	14 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	機械設計科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	600 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1380 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80 人		37 人	7 人	2 人	4 人	6 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	1 人 (6.7%)	11 人 (73.3%)	3 人 (20.0%)
（主な就職、業界等） 製造・自動車・家電・医療機器・玩具・家具業界 等（大和冷機工業、大成技研、カジワラ、システム・サーキット・テック 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 次元 CAD 利用技術者試験 2 級、2 次元 CAD 利用技術者試験 1 級、3 次元 CAD 利用技術者技能試験 2 級、3 次元 CAD 利用技術者技能試験 1 級、機械設計技術者試験 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	2 人	5.13%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	建築学科		－		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼間	4170 単位時間／単位	2580 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	3555 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		206 人	2 人	4 人	24 人	28 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66 人 (100%)	0 人 (0.0%)	63 人 (95.5%)	3 人 (4.5%)
（主な就職、業界等） 建築・建物施設管理・インテリア業界 等（大和ハウス工業、大林デザインパートナーズ、高砂熱学工業、ヤマダホームズ、フジタ 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築施工管理技術検定、商業施設士、放送大学学士、福祉住環境コーディネータ			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
229 人	7 人	3.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
芸術		芸術専門課程	声優・演劇科		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1700 単位時間／単位	395 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	3875 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		202 人	4 人	6 人	45 人	51 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
102 人 (100%)	3 人 (2.9%)	95 人 (93.1%)	4 人 (3.9%)
（主な就職、業界等） 声優・俳優・司会業界 等 （文学座、劇団昴、劇団 NLT、劇団ひまわり、宝映テレビプロダクション 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台機構調整技能士、照明技術者技能認定、色彩検定、足場の組立て等作業従事者特別教育			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
233 人	13 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
芸術		芸術専門課程	放送芸術科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1740 単位時間／単位	1380 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1080 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320 人		331 人	8 人	8 人	43 人	51 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
146 人 (100%)	5 人 (3.4%)	127 人 (87.0%)	14 人 (9.6%)
（主な就職、業界等） テレビ・ラジオ・CMなどの放送通信・映画業界 等（コスモ・スペース、TBS アクト、泉放送制作、ヌーベルキャリア、コナミグループ等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
355 人	19 人	5.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
芸術		芸術専門課程	演劇スタッフ科		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1800 単位時間／単位	600 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1620 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		166 人	8 人	4 人	32 人	36 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
78 人 (100%)	1 人 (1.3%)	75 人 (96.2%)	2 人 (2.6%)
（主な就職、業界等） 劇場・ホール舞台制作・管理・美術スタッフ業界 等（劇団四季、宝塚舞台、松竹衣裳、明治座舞台、東宝映像美術 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台機構調整技能士、照明技術者技能認定、色彩検定、足場の組立て等作業従事者特別教育			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168 人	8 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
芸術		芸術専門課程	コンサート・イベント科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1770 単位時間／単位	960 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1680 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
720 人		652 人	11 人	18 人	64 人		84 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
302 人 (100%)	1 人 (0.3%)	295 人 (97.7%)	6 人 (2.0%)
（主な就職、業界等） 音楽・コンサート・イベント・ホテルブライダル業界 等（シミズオクト 、総合舞台、ホットスタッフ・プロモーション、ポニーキャニオン、日本ステージ 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
663 人	25 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
芸術		芸術専門課程	音響芸術科	○	－		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	1185 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1500 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		209 人	4 人	6 人	27 人	33 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
126 人 (100%)	4 人 (3. 2%)	118 人 (93. 7%)	4 人 (3. 2%)
（主な就職、業界等） 音楽・レコーディング・ラジオ・映像編集業界 等（東芸エンタテインメント、エイベックス、マーキュリー、ソニー P C L 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定 3 級、Avid ProTools101、Avid ProTools110			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
261 人	10 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
芸術		芸術専門課程	デザイン科		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2490 単位時間／単位	630 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2190 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
240 人		273 人	16 人	6 人	34 人		40 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
92 人 (100%)	3 人 (3.3%)	84 人 (91.3%)	5 人 (5.4%)
広告・雑誌編集・印刷 等（スパイス、ホリ 、シチズンT I C、SUBARU、佐川印刷電通 t e m p o 等）主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
295 人	14 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
芸術		芸術専門課程	ミュージックアーティスト科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1710 単位時間／単位	1035 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1350 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		215 人	3 人	4 人	40 人	44 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
87 人 (100%)	2 人 (2.3%)	82 人 (94.3%)	3 人 (3.4%)
（主な就職、業界等） 音楽・エンターテインメン・ゲーム・アニメ業界 等（島村楽器、ユニバーサルミュージック、フレオマネジメント 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、ビジネス著作権検定 B ベーシック			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
207 人	10 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更(就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
芸術		芸術専門課程	マンガ・アニメーション科		○	－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1740 単位時間／単位	540 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	3660 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人		283 人	68 人	8 人	47 人	55 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
162 人 (100%)	23 人 (14.2%)	118 人 (72.8%)	21 人 (13.0%)
（主な就職、業界等） アニメ・マンガ・ゲーム・広告業・出版・印刷業界 等（タツノコプロ、スタジオコメット、マーキュリー、AOI、ウィットスタジオ 等			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
333 人	11 人	3.3%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
芸術		芸術専門課程	ダンスパフォーマンス科		○		－	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	1755 単位時間／単位	615 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1980 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		227 人	0 人	4 人	59 人	63 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
87 人 (100%)	0 人 (0.0%)	87 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 音楽・エンターテインメント・ダンス・スポーツ業界 等（studio if、HANA エンタープライズ、ECC、フロリオダンススクール 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
223 人	16 人	7.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
芸術		芸術専門課程		マンガ・アニメーション科 四年制		－		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼間	3420 単位時間／単位		1170 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	6000 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
280 人		380 人	18 人		7 人		7 人		14 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳粛かつ適正な成績管理の実施および公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 【個別相談・指導等の対応】 対応当日中に担任より電話、E メール等で連絡することを基本とし、状況に応じて保護者に連絡するなどの対応をしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
82 人 (100%)	1 人 (1.2%)	73 人 (89.0%)	8 人 (9.8%)
（主な就職、業界等） アニメ・マンガ・ゲーム・広告業・出版・印刷業界 等（タツノコプロ、ジェー・シー・スタッフ、横浜アニメーションラボ、日本アニメーション 等）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明会を実施、個別面談を行っている。就職模擬試験（筆記試験）、模擬面接を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定：情報活用検定 2 級、情報検定：情報活用検定 3 級、ビジネス著作権検定 B ベーシック			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
370 人	12 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学)、経済的理由、病気治療、成績不良等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を含めた科内教員による面談、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはスクールカウンセラーによる学生相談室を設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。 本年度より自宅にて参加できるオンライン面談の実施を開始した		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
IT スペシャリスト科 (4 年制)	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
情報処理科 (2 年制)	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
AI システム科 (2 年制)	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
情報ビジネス科 (2 年制)	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
ゲームクリエイター科四年制 (4 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
CG 映像科 (3 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
ゲームクリエイター科 (2 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
電子・電気科 (2 年制)	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
ネットワークセキュリティ科 (2 年制)	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
建築設計科 (2 年制)	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
機械設計科 (2 年制)	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
建築学科 (4 年制)	200,000 円	1,050,000 円	0 円	
声優・演劇科 (2 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
放送芸術科 (2 年制)	200,000 円	1,220,000 円	0 円	
演劇スタッフ科 (2 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
コンサート・イベント科 (2 年制)	200,000 円	1,230,000 円	0 円	
音響芸術科 (2 年制)	200,000 円	1,210,000 円	0 円	
デザイン科 (3 年制)	200,000 円	1,120,000 円	0 円	
ミュージックアーティスト科 (2 年制)	200,000 円	1,210,000 円	0 円	
マンガ・アニメーション科 (2 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
ダンスパフォーマンス科 (2 年制)	200,000 円	1,210,000 円	0 円	
マンガ・アニメーション科四年生 (4 年制)	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
修学支援 (任意記載事項)				
【若きつくりびと奨学金 (給付型奨学金)】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金 (新卒者向けに成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金、既卒者向けに再進学特待生、留学生向けに留学生特待生の全 6 タイプ) を給付している。 高い学業生成を修めた学生へ、優秀学生校長賞を本年度より給付している				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上で公表している https://www.neec.ac.jp/public/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、改善につなげる。 ・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれた信頼された学校作りを進める。 ・校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講じる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
セントラル電子制御株式会社	1 年	IT 企業委員 卒業生委員
株式会社マックス 専務取締役	1 年	地域関連 会計専門委員
株式会社テレビ神奈川 ecom 事業部	1 年	クリエイターズ企業 卒業生委員
公益財団法人 画像情報教育振興会	1 年	クリエイターズ/デザイン企業委員
一般社団法人 大田工業連合会	1 年	テクノロジー企業委員
一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会	1 年	ミュージック企業委員 学校関連委員
学校法人上野塾 東京実業高校	1 年	学校関係
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上で公開している https://www.neec.ac.jp/public/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 日本工学院専門学校 URL https://www.neec.ac.jp/kamata/
